

**先生** 届ける先が教員ではなく“本物の企業の人”なので、生徒たちのモチベーションは普通の授業と違った非常に高いものでした。

**生徒** インターンを終えて、いろんな会社が気づかないところで自分たちの生活と関わっているのだと改めて感じました。地域と関わりのある企業について調べられてとてもよい経験になりました。

**先生** 「自分の家にも届いてた!」「お弁当で食べたことある!」など、生徒にとって身近な企業の課題に、その社の一員という目線で取り組むことで、いろんな面から物事を考えられるようになっていました。

**生徒** 私たちが日頃住んでいる地元についてよりよく知ることができました。本番の発表では少しミスもありましたが、大きなトラブルなく終えることができ、たくさん調べて、考えてプレゼンする楽しさがわかりました。

**先生** 「人前で話すのが苦手だったけれど、学外の人もコミュニケーションすることで少しずつ得意になり、自信がついた」と、この取り組みで得た体験を伝えて推薦での大学進学を決めた生徒もいます。自ら活動して成果を残せたことは、生徒にとって大きな自信につながる貴重な学びになりました。

The voice of Teachers and Students

## “地元企業インターン”ワークを体験した先生方、生徒たちの感想です。

授業での様子や、取り組んでみてわかったこと、変化したことなど、実際にお聞きした声をご紹介します。

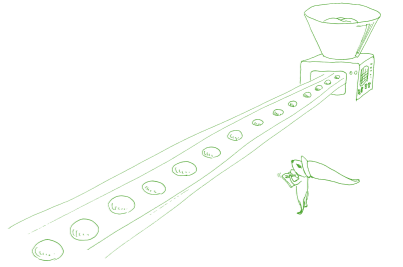
● 先生の声 ● 生徒の声

**生徒** これまであまり会社について考えることがなかったので、今の状況でどんなことができるのかを考えるいい機会になりました。チームで話し合った内容を自分たちで形にしたこともはじめてで、とてもいい学習ができたと思います。

**先生** 会社についての理解だけでなく、「この企画をこの地域でどう実行できるか?」ということも考えるので、地域への理解や地元の魅力を発見することにもつながりました。

**先生** 生徒たちは、積極的に地域の商店街や駅などで街頭アンケートを行い、自分の足で情報を集めていました。そうやってつくった調査報告は企業の方も驚くほどでした。仕事でも必要な力を実践で学んでいました。

**生徒** 企業という学校の外の社会に焦点を当て、自らの意見をそのまま述べるのではなく、この考えが通用するのか、抜けないか、と一から考えてまとめることは思った以上に難しいものでした。この体験をとおして、商品開発部の方は本当にさまざまな引き出しを持っているのだと、商品を見る目が変わりました。



TWICE PLAN COMMUNITY 02

## “地元企業インターン”ワーク

「仕事の力を見つけよう」

— 元気な地元の職場に学ぶ“地元企業インターン体験” —



地域の経済を支える地元企業のインターンとして、企業の課題に取り組むワークです。

チームをつかってインターン先企業を選んだら、会社のミッションを受け取り、地域社会に貢献する課題解決に取り組めます。

【身につく力】

職業理解、コミュニケーション力、チームワーク力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力、進路意識の向上

TWICE PLAN



お問い合わせ

株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュート  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町1-11-804  
Tel 03-6861-3553 / Fax 03-6861-3554  
Mail [info@twiceresearch.jp](mailto:info@twiceresearch.jp)  
URL <https://twiceresearch.jp>



## “地元企業インターン”ワーク

# 地元の力を使って 仕事の価値を体感する

自分たちの身近にある地元企業の一員として、地域の特徴、強み・弱みを知り、改善すべき課題を発見。会社と地域社会にとって最善の答えを探っていきます。

普段目にする商品・サービスだけでなく、インターンという立場で、各企業がどんな取り組みをしてきたのか、その歩みと意図を理解し、働くときに何が大切なのかを実感していきます。

# 1

チームづくり、企業選び

スタートは  
チームと会社のいい出会いから



3~5人のチームを結成し、リーダーを決めて、チーム名や意気込みを考えます。チームで話し合い、インターンをする企業を選びます。

# 4

プロジェクト始動、徹底会議

仲間と協力して  
仕事の達成を目指す

ミッションに応えるため、ブレインストーミングでアイデアを出し合ったり、リサーチをしたり、インタビューやアンケートなどのフィールドワークに取り組んだり、チーム全員で協力しながら企画を組み立てていきます。



# 2

自己紹介、最初の課題

抱負を伝えて  
最初の仕事を始める

チームごとにインターン先企業に自己紹介をして、インターンの抱負を伝えます。それに続いて、企業からはじめての課題を受け取ります。



# 5

リハーサル、プレゼンテーション

ここまでの準備を形にする



チームごとに本番を想定したりリハーサルをし、最後の最後まで話し合いながら磨きをかけて、提案を仕上げます。ミッションに応じてつくった企画のプレゼンテーションは、みんなで審査をして、“グランプリ”も決めます。

# 3

ミニ・プレゼン、ミッションを受け取る

まずはチームで腕試し！

最初の課題に対するチームの答えを、企業の担当者にプレゼンテーションします。発表後、企業から本格的な課題として、「ミッション」を受け取ります。



# 6

振り返り

実社会でも発揮できる自分の力を発見する

これまでのワークを振り返って、チームでディスカッションします。最後はひとりひとりレポートを書いて終了です。



## ワークの流れ

12のステップにそって進行します。チームをつくり、最初に地元企業の初歩的な課題、次に本格的な課題に挑戦し、プレゼンテーション。最後に活動を振り返ります。取り組み時間数は学校の状況に合わせて柔軟に設定することが可能です。  
(※1ステップの目安は最少45分です)

## “地元企業インターン”ワーク

- 1 最初の準備
- 2 最初の仕事
- 3 ミニ・プレゼン
- 4 ミッション始動
- 5 はじめにプレスト
- 6 続いてリサーチ
- 7 企画立案①
- 8 企画立案②
- 9 リハーサルをしよう
- 10 ブラッシュアップ
- 11 “本番”!
- 12 振り返り

## 働くことを疑似体験する

普段身近にある地元企業で仕事を疑似体験。「お客さまのために何ができるのか」という企業の視点で、商品やサービスを考えることを体感します。届ける相手や社会のために自分がどんな力を使えるのかを発見し、働くことの本質への理解にもつなげていきます。

